

磐城時報

第六廿夕
日刊
編輯 石城郡平町新田十四
印刷 石城郡平町新田十四
發行 石城郡平町新田十四
電話 石城郡平町新田十四
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行十四字 一月一元五角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
印刷 石城郡平町新田十四
電話 石城郡平町新田十四
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行十四字 一月一元五角 三月三元五角 半年六元 一年十二元

磐城炭礦の役員

四十三名を整理

社員十一名、雇員三十二名 労働者は整理せぬ

内郷村磐城炭礦では過般來ボツは桂茂實、綴製作所主任には金（労働者の整理を行つてゐた子喜一郎氏夫々任命された。向が、二十五日午後四時社員並に労働者は今日まで既に整理を雇員四十三名の整理を発表した行つてゐたため今後は絶対に整理を行はぬ筈である。

綴製作所主任技師箱崎清一

抗務課長宮内肇△調度係書記若松嘉平、同調井勝吉△販賣所書記佐藤忠之助△町田坑技手金子新△測量技師隈元隆△電氣係松本礦三郎△平發電所技師原武平△機械係安島清二△湯本工作所長青山武七日植田勿來は二十八日何れも十一名で雇員は三十二名であつたが四倉市場の初取引はる。この整理に伴ひ労働課長濱野年四の四倉に比し三日早く取崎善三郎氏は水野事務部長退職引開始の關係から千五百貫位の以來欠員であつた事務部長となつて總出廻り一萬五千貫を見り庶務課長を兼任、小島庶務課長は相場は三十圓を稱へられ長は労働課長に轉じ工務課長に任ぜられた。

中ノ作に對抗して

豊間築港の運動

村長以下大舉出縣

本縣では臨時縣會議を経て今萬三千圓、これに對抗して豊間回の窮乏打開の事業に漁港一港の修築實現を期して猛運動だけ修築の新規事業を計劃し石を開始し鈴木豊間村長、遠藤徳城郡中ノ作港を工費十五萬圓で三郎、馬目常吉、鈴木岩吉、四修築する事に決定し二ヶ年繼續家七の諸氏は三田縣議と共に七年度三萬七千圓、八年度十一出縣事情を述べて修築の必要を

事業中止

東洋捕鯨

東洋捕鯨會社小名濱事業部は苦倉署に捕はれた。平町字紺屋町居住石城郡大野村大字駒込生れ吉松二男洋服屋金成義勝（二八）は去る十六日大野村駒込地内玉造川で爆薬を用ひ鮎を捕獲し漁業法違反として四鮎を捕獲し捕はれた。

六縣保險部長會

あす平町に開く 新舞子、豊間、勿來を視察

縣醫師會主催第四回興六縣醫年齡六十七八歳の男が急死を遂師會健康保險部長協議會は二十七日午前九時から平町マルトモ發見平署員が検視したが、白紙ホルに開くが、當日は日本醫の單衣を着し懷中に二錢を有す師會長以下臨席の筈である。議ののみで身元その他一切不明で事終了後自働車に分乘して新舞子海岸に至り地曳網の餘興あり午後二時五十分豊間村沼ノ内辨天を視察し回春園から監屋崎燈臺を廻り勿來に至り午後六時半平着、七時から住吉屋本店で懇親の宴會を開く筈である。

老爺縊死

鐵道線路で

石城郡赤井村字高萩磐越東線小局に對し改修工事認可申請中のを全部を切り開き、切り通しと

繭價高騰のため 蠶種拂底を來す

不良蠶種の押賣り横行

爲替大暴落等から繭價昂騰し秋晩秋繭は四圓臺は確實と見られるにいたつたが、これ一般養蠶家は俄に活況を呈し手のある限り晩秋蠶の掃立増を企てた結果蠶種は石城地方は勿論全国的に佛底し最近他縣からも續々註文が殺到した程で、右に關し久之濱蠶業取締所支所長は語る

豚コレラ

勿來町軍田及び酒井方部の豚コレラ

滿洲から

慰問金に對する謝狀

高松宮に メロン献上

會津翁島御別邸に御成り遊ばされた高松宮同妃兩殿下へ赤城知事は縣農試石城分場産のメロン及び葡萄各一籠を献上する事となり引田官房主事が二十五日御別邸へ伺候献上する手續された。

これで養蠶家も恵まれるわけですが、桑も大部分不足を來し貫廿錢といふ高値を示してゐる。この活況に乘じ不良蠶種を賣付け暴利をむさぼる者種價尻上りを豫想しての繭の豫約買をなすもの等の不良仲買人を嚴重取締の方針である

堀坂トンネル工事

江口忠一氏に落札 九月五日頃着工

常磐線湯本、綴開堀坂トンネルたので二十六日平保線區に於ては今春來より壁に龜裂甚だしく入札を行つた結果江口忠一氏に危険の上もないので過般東鐵落札した、右工事は三十三米突局に對し改修工事認可申請中のを全部を切り開き、切り通しと

（前略）小生は四倉町新町の出身今年三月中旬を期して渡滿仕候、初年兵にて現奉天附屬地の警備出動中に御座候今回は又格別なる御芳志の腹肝に銘じ只感激のみに御座候（中略）滿洲の夏も餘す所幾何もなくして涼風と化すること存じます、御地の暑さは近年稀に見る事定めてし困却致し居ります事と推察仕り居候、事變突發以來我軍に多大の損害を與へて緑林の俠者馬占山も精銳なる我軍の一彈に脆くも悲惨の死屍を横たへ滿洲の天地全く平定になりつゝあれど各所に蜂起する匪馬賊の横行以前熾なることあまねく新聞の報導する處に御座候、小生等も益々緊張且自重を要する時機と存じ候内地では戰闘よりも恐る可きコレラ發生とのこと皆益々御身御自愛專一に遊ばされんことを遠滿の地よりお祈り申上候（後略）

（西兵工廠警備中）
（前略）此度は私遠派遣軍一同を御慰問下され加ふるに御慰問金迄御送付下され唯々御厚情感謝の外無之候、當地目

奉天駐劄步兵第九聯隊
第三中隊
田中正徳

女工駆落ち

平町立町製綿女工菊地マサ(二〇)は性來淫奔娘として町内に知られてたが、二十二日夜情夫條崎某と手を携へ乳飲み子を親許に預けた儘道行きと酒れ込んだので両親は世間体を恥ぢて心當りを捜索中である。

悲惨な失業者に

係員貰ひ泣き

△失業者の群の叫ぶS()Sを絶えず聴く平町職業紹介所は一日平均十餘件位宛あつてゐるこれ等の人々が異口同音に訴へる血みどろな生活苦は斯うだ。

△今朝で二日何の食へません私共は我慢もしませうが子供達に腹が減つた泣かれるとさ身を削られる様な氣持です△これまで其課に勤めてゐましたが行政整理の粗上につつて失業してゐます、何でも働きますから職がないでしようか

△私は今年七十歳になります頼る子供もなく職はなし餓死しそうです何か仕事を與へて下さい

▽……を訪る人々の約六割は一定の住居のないレンペンで仲々要領のいゝ泣き事をならべるが、事情を聞いてホロリとする様な氣の毒な者もある。そうした人には係員はポケットマシーを恵むぞうだ。

▽……此話しの最中に訪れて来た水戸在の者だといふコック上がりのレンペンが職を與へて下さいと泣き込み係員から懇々と不心得の點を諭されふるさへ歸りまよふと引下がつて行つた

石炭の大特賣

塊炭正味十貫目

一俵 金二十錢也

▽「品が良く」「値が安く」「目方は正確」です
▽トニカク一度使つて見て下さい
▽配達は一俵より致します

御注文は……電話三七番へ

平 驛 前

阿部石炭店

涼味百パーセント……菊地の白靴

お若い方にノーフアル型最新角型はモダン好みお中年のお方は先細型こてもシイクで値が安い

当店自慢のリネンシューズ
三、二〇ヨリ……五圓マデ

菊地靴靴店
電話(呼)四三六

小學生用防水マント

入學進級のた子様方、完全なツルヤの防水マントを耐久三年以上

二尺	一圓四十錢
二尺二寸	一圓六十錢
二尺四寸	一圓八十錢
中ゴム合セ別誂マント	
進入生用	
男 二	二圓三十錢
女 二	二圓三十錢

ツルヤ 電話一四〇

急性・慢性を問はず

淋疾は立派に全治す

(一)淋疾尿道炎、(二)消濁、(三)膀胱力多ルには驚く可き効目がある
高級治淋新藥 トリプチン 三二圓

特約店 大平屋藥店
電話六四二番

横濱植木株式會社特撰

草花・蔬菜類

優良種子

各種賣出し致しました。農園藝藥品の御相談は

西村屋藥局
電話三番

世界の名湯國立療養所の所在地

別府の天然家庭温泉

命の洗濯

一、温まる事は天然温泉と變りません
一、萬病に靈驗的効果のある天下の別府温泉を日常家庭で湯治の出来る重寶な家庭温泉
一、従来の浴劑を斷然優越せる新發見劑
一、石鹼の使用は出来る、白粉の伸を良くす、皮膚を美化する理想的浴劑

疲勞回復 健康増進の鍵
病魔征服 傳染病豫防の武器
眞の温泉療法は「若葉の三四月から「夏に於て最有効な時期です、是非御試用願ひます。

六回分(二日使用 十二日分) 五十錢
十四回分(同 廿八日分) 一圓
三十四回分(同 二ヶ月八日分) 二圓

命の洗濯代理店 小野屋藥舖
電話一四四番

平町田町(電話五二三番)

高久病院

醫學士 高久
新潟醫學士 赤羽
藥劑士 佐竹 菊
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

美神淋藥

一週分 四十錢
二週分 八十錢

口香水中の懐中良藥



超仁粒銀

一町一店主義で 販賣店募集
目下大特典アリ此期ヲ逃セズ至急
照會アレテ電話向レニテモス
返事 逃セバ大損ツカメ此機會

角目丁五町平 局藥邊野山 店理代方地

貸切御用命ハ

三井自動車部へ
電話六八五番

乗合は 好間合戸澤渡方面行